

今年には雪が少なく、例年より早い桜の開花でした。本校の校庭の桜も満開となり新入生へ祝福を寄せてくれているようです。

本日、ここに県議会議員 伊藤かおり様、市議会議員高橋公夫様をはじめ、学校運営協議会の皆様、そして保護者の皆様にご臨席賜り、令和八年度の第五二回入学式を挙行できますこと、誠に嬉しく思っております。

155名の新入生のみなさん、ご入学、誠におめでとうございます。

今日から皆さんは山形市立第九中学校の生徒です。壇上から皆さんの表情を見ると、緊張感と共に、これから始まる新しい生活に胸を膨らませている様子が伝わってきます。新しい生活を切り拓いていくのは自分自身です。みなさんお互いを思いやり、協力し合って、充実した三年間を送ってほしいと思います。

本校には、大事にしている4つの合い言葉が四つあります。玄関にある看板を見た人もいることでしょう。「あいさつの九中」・「合唱の九中」・「花に囲まれた九中」・「ボランティアの九中」この四つです。みなさんもこの合い言葉を大事にしてほしいと思います。

入学にあたり、これから始まる中学校生活の中で大切にしたいことを1つ話します。

それは「失敗を恐れないこと」です。

「失敗」は人を成長させてくれます。みなさんはこれまで生きてきた中でどのくらい失敗をしましたか。私は今日まで数えきれないくらいたくさん失敗をしてきました。そのた

びに悲しくなったり、落ち込んでしまったり、恥ずかしくて逃げ出したくなったりもしました。

私の、今思い出しても顔が赤くなるような失敗を1つ紹介します。小学1年生の頃のことです。給食の時間、私はどうしてもトイレに行きたかったのですが、人に話をするのが苦手だった当時の私は「先生、トイレに行きたいです」の一言が言えず、教室で漏らしてしまったのです。とても恥ずかしかったです。この失敗から私は大切なことを学びました。それは、「言葉にして伝えないと、自分の状況は誰にも分かってもらえない」ということです。

失敗は、自分の行動を見直したり、次はこうしようという目標をもったりするきっかけになります。一生懸命に取り組んでいても、私たちは失敗をしてしまうことがあります。その失敗が自分を成長させてくれます。ただし、失敗を成長につなげるために大切なことが2つあります。

1つ目は「失敗を素直に認めること」です。学校は失敗してよいところです。もし「失敗した」と思ったら、まずはそれを認めましょう。だれかに迷惑をかけたら「ごめんなさい」と素直に謝りましょう。その勇気が次の成長につながります。

2つ目は「上手に助けを求めること」です。学校は失敗してよいところですが、避けなければならぬ失敗もあります。それは「命」「心」「体」を傷つけてしまうことです。もし、そのような失敗を感じたり、見たり聞いたときには、絶対に一人では抱えず、家族や友達、先生方に相談してください。相談することで、すぐに問題が解決しなくても、誰かに話すことで心が軽くなり、解決策が見えてくるかも知れません。自分でため込まないことが大切です。失敗は自分を成

長させる大きなチャンスであることを意識して生活していきましよう。

本校は昨年度50周年という節目を迎えました。そして、山形県内はもちろん、全国でも稀な毎年生徒数が増えている学校です。3年前には校舎増築工事も完了し、存分に教育活動ができる状態になっています。また、今年度6月から体育館・武道館・特別教室のエアコン工事もはじまります。

さて、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。真新しい制服に身を包み、中学生となった我が子の姿に、感慨もひとしおのことと拝察いたします。

学校は、「子どもたちの今を預かり、子どもの未来を語る場所」であります。これからの三年間、大切なお子様をお預かりし、教職員一同、力を合わせて、一人ひとりの成長を支えてまいります。生徒一人ひとりの限りない可能性を信じ、その力を最大限に伸ばしていけるよう、全力で教育活動に取り組んでまいります。そのためには、学校と家庭との連携が不可欠です。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、ご来賓の皆様。本校は、地域の皆様に支えられている学校でございます。子どもたちの元気な姿が、地域の活力につながるものと考えております。今後とも、変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、式辞といたします。

令和八年四月八日

山形市立第九中学校 校長 土井 正路